

中電と立地並み協定

米子市「続けて要望」

市民団体に回答

米子市が8日、中国電力島根原発の稼働に反対する市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」の要請書について回答し、中電に対し立地自治体並みの安全協定締結を引き続き求める考えを示した。

同市加茂町1丁目の市役所で、市防災安全課の武田直樹防災安全監が連絡会の保母武彦事務局長に回答書を手渡した。

意見交換で保母事務局長が「いつまでに（立地自治体並みの安全協定締結を）実現させるのか」と質問し、武田防災安全監は「なるべく早期でとらうことになりたい」と述べることをめた。連絡会は、周辺自治体の5市と鳥取県、立地自治体の松江市と島根県に要請書を提出。鳥取側は境港市が回答している。

(狩野樹理)

2018.11.9

山陰中央新報